

2月20日(金)、鶴岡高専において、KM システム工房 丸山 光一 氏を講師としてお招きし、3D-CAD と 3D プリンタを用いた「技術体験交流会」を開催しました。

本交流会は、経済産業省地域イノベーション協創プログラム補助金(3D プリンタ拠点整備によるオープンプラットフォーム構築支援事業)に機械工学科 田中 浩 教授が申請し採択された「鶴岡高専モノづくり設備を用いたオープンプラットフォーム構築による庄内地域の中小企業および起業家の技術研究開発支援」事業の一つとして企画されたものです。

当日は 14 名の庄内地区企業技術者及び一般の皆様に参加いただきました。



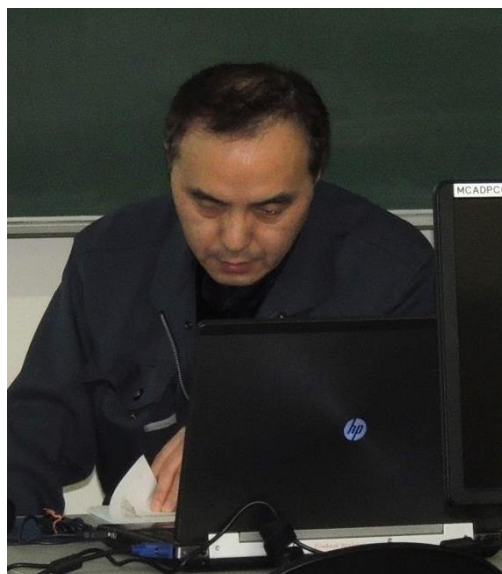
顔合わせ及び実施の流れの説明

初めに、講師の丸山氏より、3D プリンタを使用する際に必要となる 3D-CAD の使用手順や方法について説明いただきました。

丸山氏の説明のもと、参加者は実際に 3D-CAD ソフトを操作しながらモデルデータを作成しました。



3D-CAD にてモデルデータを作成する様子

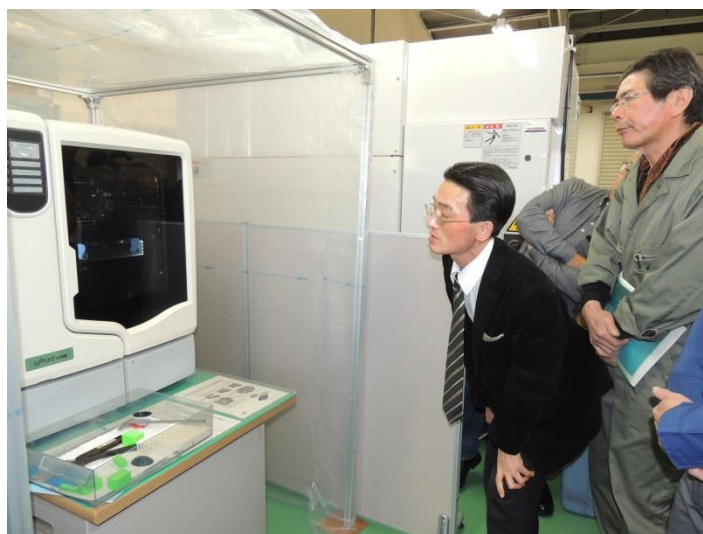


講師の丸山 光一 氏

次に、本校教職員より 3D プリンタの使用方法について説明をし、3D-CAD で作成したモデルデータを用い、3D プリンタにて造形物の製作を行いました。



本校教職員による 3D プリンタ使用説明



3D プリンタにて製作中



約 30 分で完成しました！

本交流会を通し、地域の皆様から本校の 3D プリンタ等の設備を大いに活用していただき、技術研究開発の一助となれば幸いです。